

浦商惜敗、準V

東海総体ハンド女子



決勝 浦添商業一佼成学園女子 前半、相手パスをカットする浦添商業の橋口明歩＝1日、三重県のサオリーナ（大城直也撮影）

【東海総体取材班】全国

高校総合体育大会東海総体高松宮記念杯第69回日本選手権大会は1日、ハンドボール男女の決勝を行い、女子は浦添商業が佼成学園女子（東京）と対戦し、22―25で競り負けた。浦添商は後半序盤に6点差をついたら、攻めあぐねる時間帯もあつたが、サイドを効果的に使った広く速いパス回し

が徐々に機能。相手ディフェンスを崩し、宮里真帆や橋口明歩、野底夢美らのゴールで追い上げた。しかし、高い打点から放つ相手シュートを止められず、惜しくも敗退。同大会の県勢女子の初優勝はならなかった。（22、23、28面に関連）

浦添商は2年前の同大会は16強止まり。今春の全国選抜大会も3回戦で敗れて

いたが、今夏の県高校総体で優勝すると、九州総体も頂点に立ち、本番の全国大会前には、県内で浦添高校らと全国大会対策を重ねてきた。

初戦の2回戦は県立日川（山梨）を破り、3回戦は四天王寺（大阪）を撃破。準々決勝は洛北（京都）を下し、準決勝は明光学園（福岡）に26―24で競り勝った。